

野田ひろき²⁰¹⁶からの手紙 春



流山市議会議員の野田です。暖かくなってきましたね！
新年度予算の審査も行われた3月議会のご報告です。
一般質問は、【初石駅の東口】、【おおたかの森のエスカレーター】、【オリンピック・パラリンピック】について。
議場での激論は、流山市議会ホームページにて！！

「友人と飲んでいても、初石駅東口を望む声が聞こえます」


 平成27年第2回定例会の一般質問でも扱った初石駅東口開設の進捗と展望はどうですか？

答弁：複数回の協議会や意見交流会が行われた。これからも、範囲を広げて行っていく。

 複数回実施されたという会合では、どんな声が上がっていましたか？

答弁：開設に伴う交通量増加への不安、開設する際の設備への要望等が寄せられた。

「おおたかの森に要望が来ないのは、整備が終わっていないからでは？」

 平成28年第1回定例会の一般質問で得られた、おおたかの森駅の下りエレベーターに関する「北口は設置する方向。東口、西口は段階的に検討していく」の進捗はどうですか？

答弁：北口は今回、設置する方針を見送った。また、東口、西口はまだ、整備する段階ではない。

 北口の設置方針を変更したのはなぜですか？また、東口、西口はなぜ今やらないのですか？

答弁：費用の負担が大きいため、今回の執行はしないこととした。自治会からの要望もあがっていない。

 北口の方針の変更は残念です。また、自治会の要望がないのは、整備未完故であると指摘します。

「自治会の要望こそ最優先」という常套句も一定は理解しますが、それでは、区画整理も人間関係も未完成なおおたかの森では何もできません。

「オリンピック・パラリンピック、18万人で盛り上げたい」

 事前キャンプの受け入れを市政に活かすためにも、新たな担当課やプロジェクトチームを作っては？

答弁：協議の上で相応の体制を作るが、現時点では、現スポーツ振興課が他の部署と連携して担当する予定だ。

 事前キャンプの受け入れが実り多いものになるよう、市民向けのイベントや広報を充実しては？

答弁：多くのイベントを企画し、市民が積極的・主体的に関われるように広報する。

 「東京2020参画プログラム」をヘルスバレーボール大会等で取り入れては？

答弁：議員ご指摘の通り、ヘルスバレーボール連盟に強く促す。他のスポーツは未定だが、研究していく。

流山市にオランダの競技チームが来ることは、ぜひ、観光・教育・文化にも活かしたいものです。「東京2020参画プログラム」とは、スポンサー関係に厳しいオリンピック・パラリンピックが、例外的にエンブレム利用を認めている競技大会のことです。ヘルスバレーボールは、流山発祥の、大きな楕円球を使ったバレーボールのような競技で、老若男女、障がいの有無を問わずプレイできるため、私は、以前から普及促進策を考えていました。質問時には、それ以外のスポーツ競技にも言及しましたので、「イベントに利用したい！」方は、私か市役所にご連絡ください。

平成 29 年度の予算を審査

新年度予算では、転入者が増えているため、市が独自に稼いでいる自主財源が増加しています。しかし、県や国から交付される依存財源は、それにしたがって、減少する仕組みになっているのです。また、市の借金（市債）は減額していますが、市の貯金（積立金）が思うように積み立てられていません。よく、「人が増えて、財政が潤うね」と言われますが、そうではありません。新しい世帯が快適に暮らしているよう、保育所の整備などにお金がかかり、民生費は大きく増額しています。これは、長らく続いている傾向です。逆に、教育費や土木費は大きな事業が終わったので、近年は相対的に減額傾向にあります。流山市を家庭に例えるならば、【家族が増えて嬉しいけど、出費もかさむし、親からの仕送りも減って、貯金が減りがち】といった状況でしょ

任期の折り返し

今議会を終え、私が頂いた 1 期 4 年の任期は折り返し地点になりました。がむしゃらの 2 年間はあっという間で、道半ばの課題が山積しています。残りの 2 年、私は更に力強く活動してまいります。皆様、どうぞ、議場や市議会 HP で私たちの激論をご体感ください！そして、みんなで一緒に、流山の未来を作り上げていきましょう！これからもお世話になります。

野田宏規の1日（3月4日）

- 08時00分 起床
- 09時00分 予算書 研究
- 10時00分 ボクシング
- 12時00分 昼食
- 13時30分 市民団体 A 打ち合わせ
- 16時00分 市民団体 B イベント
- 18時00分 市民団体 C 打ち合わせ
- 19時00分 市民団体 D 交流会
- 21時00分 会食
- 24時00分 事務作業
- 26時00分 就寝



流山市市政施工 50 周年

平成 29 年 1 月 1 日、市制が施工されて 50 年ということで、流山市は「50 歳」の誕生日を迎えました。昭和 42 年当時約 4 万 3 千人だった人口は、平成 29 年 3 月 1 日現在 180,945 名となりました。まちなみも大きく変わったようです。1 月 21 日の記念式典では、功労者への表彰状贈呈や記念映像の上映などが行われました。先人の想いを胸に、未来を創り上げていく。温故知新の想いを改めて強めました。



↑文化会館建設前（昭和 43 年）
（流山市立博物館提供）



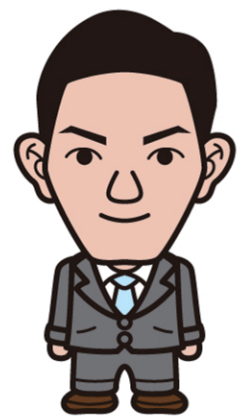
↑現在の文化会館（平成 29 年）

流山市議会議員 野田宏規（無所属）

【生年月日】平成元年 4 月 13 日（27 歳）【身長・体重】176cm 62kg

【略歴】千葉県流山市出身。芝浦工大柏高校ではラグビー部に所属。同志社大学ではバックパック 1 つで世界を歩き、人々と社会を話し合う。一般企業に就職、帰郷するも、流山への想いを強くし、退社。2015 年 4 月に流山市議会議員選挙に出馬し、1902 票を獲得、初当選。議会では、総務委員会と T X 沿線整備と新川耕地・周辺特別委員会に所属。休日はボーイスカウトかボクシング。

【近況】閉会中には、静岡市、牧之原市、藤枝市、品川区、墨田区、木更津市等を視察。ただいま、流山青年会議所で拡大担当をしております。流山のために何かしたい 20-40 歳の「あなた」！ぜひ、ご一報ください！…以上、宣伝でした。



nodahiroki1989@gmail.com



http://www.nodahiroki1989.com